

とっさに持って逃げる

非常持出品

貴重品・証書類

現金(5万円程度。お札と小銭に分けて用意)、預金通帳、印鑑、各種保険証書など

飲料水・食料品

飲料水、乾パン、缶詰、粉ミルク、離乳食など

救急用品

絆創膏、ガーゼ、包帯、消毒薬、傷薬、常備薬、体温計、カミソリ、安全ピンなど

衣類・生活用品

下着や上着、レインコート、軍手、洗面用具、ビニール袋、筆記用具、はさみなど

その他必需品

懐中電灯、携帯電話、携帯用ラジオ、時計、電池、ライター、ろうそく、家の合鍵など

日頃の準備チェック

①非常持ち出し品はリュックに入れていますか。
②応急手当の方法を知っていますか。
③避難所に行ったことがありますか。
④家族で風水害などの災害について話し合いをしていますか。
⑤地域の防災訓練に参加したことがありますか。
⑥隣り近所とのコミュニケーションはとっていますか。

非常持出品は、いつでも使えるように、リュックなどに入れて、ひとまとめしておくとう便利です。また、定期的な点検が大切です。持ち出し品の主なものを紹介します。



▲台風23号で土砂に埋もれた車(丸山伊加利線)。豪雨の際は、斜面付近にも警戒が必要です。雨により崩れやすくなった斜面は、土砂災害を引き起こすことがあります。土砂災害には、様々な前兆がありますので、前兆に気がついたらすぐに避難をしてください。

など、大きな被害がもたらされるため、がけ付近などでは十分な注意が必要です。また、集中豪雨は狭い地域に突発的に降るため、予測は極めて困難です。急に注意報や警報が発令されることがありますので、気象情報や雨の降り方に気をつけてください。

台風・大雨情報が出たら、早めに準備
台風や大雨情報が出たら早めの安全対策が必要です。ラジオやテレビなどの気象情報、市の防災メール(防災ネット)などに注意してください。外出先から早く帰宅し、家族全員と連絡を取り合い、危険な土地では非常持出品を用意して、いつでも避難できる準備をしてください。

ひょうご防災ネットに登録
QRコード▶
携帯電話のバーコードリーダーで読み込んで、アクセスしてください。
<http://bosai.net/minamiawaji/>

災害伝言ダイヤル

171

NTT西日本災害用伝言ダイヤル「171」

大規模な災害が発生したときに、被災地内やそのほかの地域の人との間で「声の伝言板」の役割をするシステムです。

①携帯電話・公衆電話から利用可能 ②緊急時の連絡や安否の確認ができる

伝言の録音方法

171 → 1

ガイダンス

被災者の電話番号 00-xx-xx-xx-xx

プッシュボタン式 1#

ダイヤル式

録音(30秒以内)

ガイダンス 9#

伝言の再生方法

171 → 2

ガイダンス

被災者の電話番号 00-xx-xx-xx-xx

プッシュボタン式 1#

ダイヤル式

再生

はりとお灸の治療院

こうおつ鍼灸院

TEL: 0799-46-0389

www.kouotsu-hari.com

〒656-0152 兵庫県南あわじ市徳文長田 8-1

受付時間	日	月	火	水	木	金	土
10:00~12:00	○	○	○	○	/	往診	○
15:00~19:30	○	○	○	/	/		○

広告

こうおつ鍼灸院

●サンライズ淡路

●神戸淡路湾門自動車道

●緑PA

●至徳島

●至湊

●風通125号

●広田八幡神社前

●広田

●国道28号線

[アクセス] 広田八幡神社前から西へ1.5km 長田線沿い

台風シーズン到来 風水害に備える

平成16年10月、台風23号が淡路島を直撃し、各地で甚大な被害をもたらしました。総雨量は300mmを超え、多数の家屋が床上浸水や倒壊など、記録的な激甚災害だったといえます。

例年のように来襲する台風は、7月~10月には特に警戒が必要です。いざというときに地域で助け合いができるよう「事前の準備」と「心構え」を万全にして、台風等の風水害に備えましょう。

国防災課 ☎43-5006



▲台風23号で氾濫した三原川。雨のピークとなった10月20日16時頃には、三原川流域の1時間の降水量が61.5mmを記録しました



(左) 台風23号で冠水した国道28号立石交差点 (右) 倒木と土砂で通行止となった道路



▲台風23号の豪雨で、低地では水没し、境が分からなくなった道路もありました (右) 降り続いた豪雨によって陥没した道路

1時間の雨量	雨の降り方と予測状況
10~20mm やや強い雨	ザーザーと降る。地面からの跳ね返りで足元がぬれる。雨の音で話し声がよく聞き取れない。一面に水たまりができる。
20~30mm 強い雨	どしゃ降り。寝ている人の半数が雨に気づく。ワイパーを早くしても見づらい。側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる。
30~50mm 激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。道路がり川のようになる。傘をさしても濡れる。山崩れやがけ崩れが起きやすく、危険地帯では避難の準備が必要。
50~80mm 非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)。傘は役に立たない。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80mm~ 猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。大規模災害が発生するおそれが高い。厳重な警戒が必要。

これから6年前の平成16年10月20日、台風23号が淡路島を直撃し、各地で甚大な被害をもたらしました。総雨量は300mmを超え、多数の家屋が床上浸水や倒壊など、島内でも幾多の尊い命と財産が失われました。

災害は忘れた頃にやってくるといわれます。日頃から付近の危険箇所や避難所を把握し、避難ルートを確認しておきましょう。また、災害の規模が大きくなればなるほど、行政の対応には限界があります。自然の脅威を認識し、普段から「自助」「共助」の意識のもと、ご近所と声を掛け合って、それぞれが地域で助け合える関係を構築することも重要ではないでしょうか。

台風や大雨情報をキャッチ
台風は、熱帯性低気圧のひとつで、中心付近の最大風速が毎秒約17m以上のものをいいます。7~10月を中心に日本に接近し、年間2~3個程度上陸します。台風による強風は想像を絶するほどの破壊力で、進路の西側より東側のほうが強風になりやすいので注意してください。また、台風は地震と違い、事前に規模、襲来時間などを予測することができません。正確な情報をいち早くキャッチし備えることが必要です。

集中豪雨は、雨が一定地域に短期間のうちに集中して降ることをいいます。直径数十kmの範囲に1時間に50mm以上降れば集中豪雨といえます。中小河川の氾濫やがけ崩れによる地すべり